

# 佐事研だより

佐賀県公立小中学校事務研究会  
編集発行人 森 清隆

## 会員各位

会員の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。11月の平均気温は、観測史上最高だったそうです。冬は一体どうなるのでしょうか。今年も残り半月ほどになりました。最後の一踏張りです。頑張りましょう。

第15回研究大会のアンケート結果の集計ができましたので掲載しております。今回はすべて好評でした。なお、本号は、理事会報告の掲載がありません(2月中旬開催予定)。ご了承ください。

### 第15回佐事研大会アンケート集計結果報告

10月29日、第15回佐賀県公立小中学校事務研究大会の際に大会アンケートを実施させていただきました。皆さまのおかげで集計ができましたのでご報告いたします。今回は皆様のご協力のおかげでアンケート数が増えました。ありがとうございました。

第15回大会アンケート集計表

年代別 回答	20代	
	中野氏講演	栗井氏講演
大変よかった	13	8
良かった	1	6
普通	0	0
良くなかった	0	0

年代別 回答	30代	
	中野氏講演	栗井氏講演
大変よかった	24	9
良かった	5	15
普通	0	5
良くなかった	0	0

年代別 回答	40代	
	中野氏講演	栗井氏講演
大変よかった	44	32
良かった	6	11
普通	1	7
良くなかった	0	1

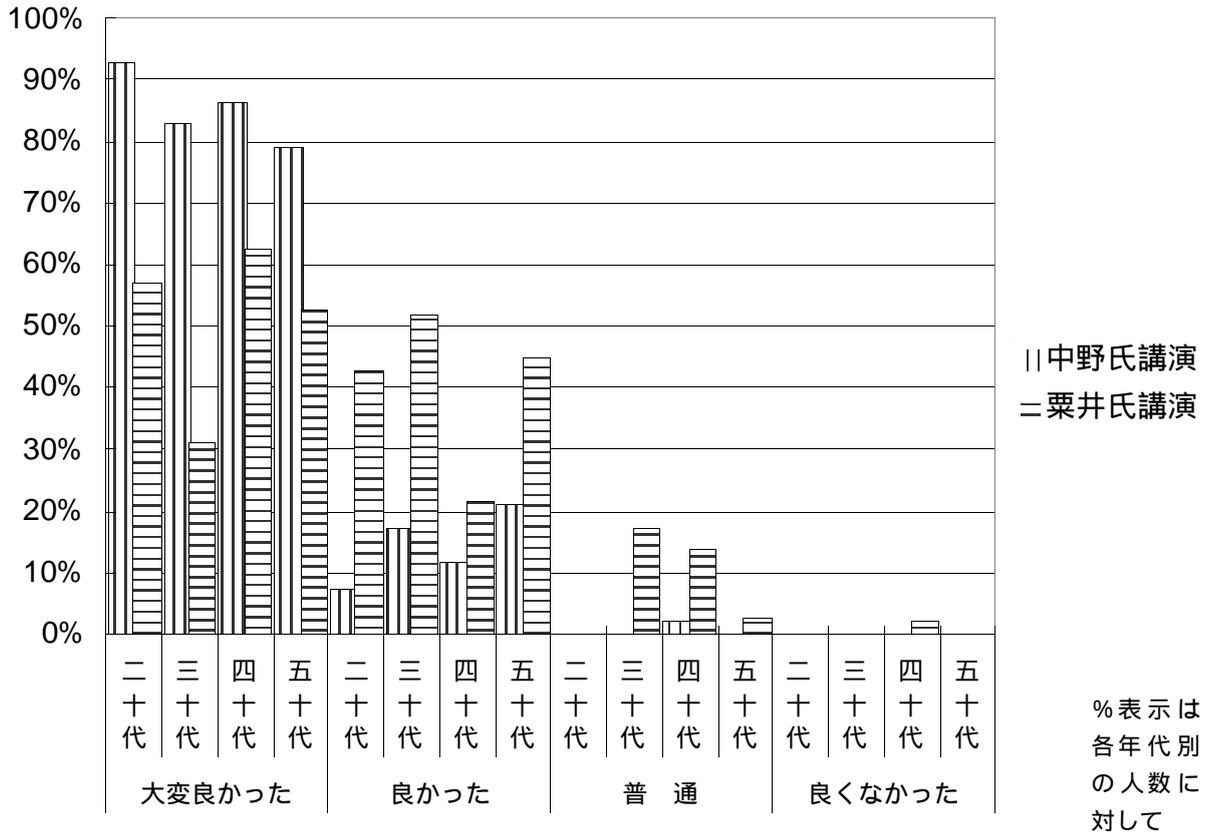
年代別 回答	50代	
	中野氏講演	栗井氏講演
大変よかった	30	20
良かった	8	17
普通	0	1
良くなかった	0	0

年代別 回答	合計	
	中野氏講演	栗井氏講演
大変よかった	111	69
良かった	20	49
普通	1	13
良くなかった	0	1
合計	132	132

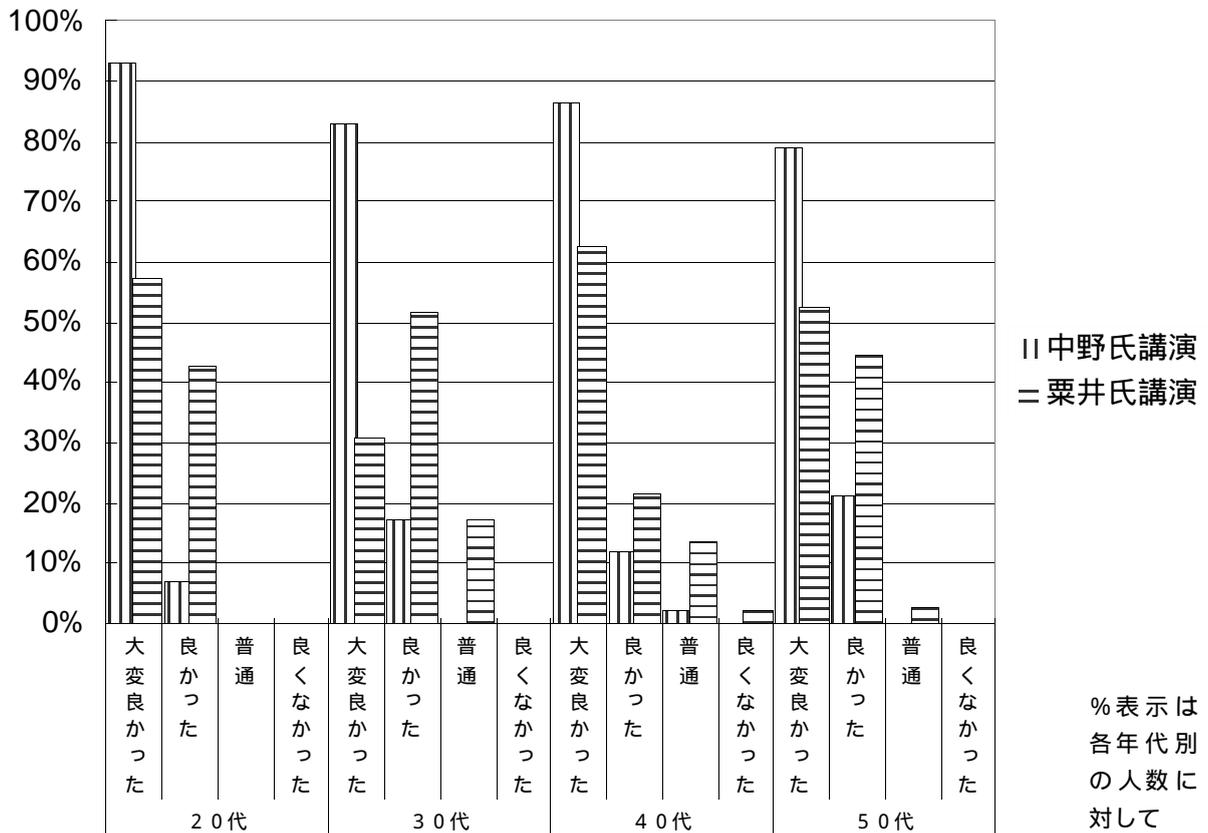
アンケート提出数	133
内数(県内)	116
内数(県外)	17

(一部無回答有)

第15回大会アンケート結果（回答別）



第15回大会アンケート結果（年代別）



中野氏講演コメント

県内

- 20代：実例をまぜられながらの講演で非常にわかりやすかったです。今後、子供達にどうかかわっていか考えていきたいと思います。
- 20代：真剣にまたおもしろおかしく話をしていただいた。ぜひ、また講演をお聞きしたい。
- 30代：学校にいる上で当然に知っておくべき問題であった。
- 30代：まだまだお話をうかがいたかったですね。わかりやすく親の立場からも考えさせられました。生徒指導協議会への取り組み方を私たちもアピールし、できる！ということを経験者のみなさんにもわかって欲しいな、と思いました。
- 30代：職種を問わず、全職種で子供のために頑張ろうと思います。しかし、教員側の意識改革もしてほしい。（自分たちだけで話したりせず）
- 30代：最近の事件だけでなく、講演者自身の体験・感想が盛り込まれており、大変分かり易く、良かった。
- 30代：トラックと正面衝突の事故に遭われて奇跡的に助かった中野氏のすさまじい生き様に活気づけられました。
- 30代：親として教職員として、大変心にひびく話でよかったです！！一言がナイフにならないように・・・気をつけていきたいです。
- 30代：最近、聞いた講演の中で一番良かったです。
- 30代：大変わかりやすかった。ユーモアがありよかったです。教育の難しさを感じた。
- 30代：大変おもしろかった。
- 30代：初めて中野先生の講演をお聞きしましたが、いろんな事例をはじめ、ご自分の体験も話してくださって感動しました。ありがとうございました。
- 30代：パワフルな中野指導主事のお話で学校一職員としても子供の親としても考えさせられました。
- 30代：こんな話を聞きたかった！！
- 30代：改めて子供は皆（地域社会も含めて）で育てるものだと思った。パワフルな講演に圧倒され引き込まれました。
- 30代：職員の立場としても親の立場としても興味深く聞かせて頂きました。言葉の一言の重みを感じました。
- 30代：三度目の講演ですが、前回、前々回同様、何度も涙ぐんでしまいました。自分の子供、学校の児童・生徒達と重なり、親の気持ちになったり、職員の気持ちになったりして、自分を見直す機会となりました。
- 30代：話がユーモアに溢れ、迫力があつた。食事が子供に与える影響がよくわかつた。
- 30代：内容自体は大変いいのですが、別の機会に聞いたものとあまりかわらなかつたので。
- 40代：度重なる御不幸事にあわれながらも明るく頑張っておられる中野先生に敬意を表したい。子育てにも参考になりました。
- 40代：人情味たっぷりで感動しました。
- 40代：動きあり、涙あり、災いあり、とても興味深く聞かせていただきました。
- 40代：特別生徒に対しても変わらぬ熱意を感じました。私的な経験も話していただいていたありがとうございます。
- 40代：子を持つ親として考えさせられ、共感を持ちました。
- 40代：親として何をすべきかを再確認できた。
- 40代：心に残る良い講演をきけた。「言葉は花束にもナイフにもなる」ということばが印象に残った。その通りだと思う。
- 40代：ユーモアに富んでわかりやすくてたいへん楽しく聞かせていただきました。
- 40代：時々こういう講演もお聞きしたいです。
- 40代：熱血！実体験を交えて、熱っぽく話していただき心に響きました。
- 40代：児童・生徒・職員との触れ合いも大切にしないと、いい学校の事務は出来ないと思います。
- 40代：第二弾・第三弾が聞きたい。
- 40代：経験と実際に添った声で良かった。
- 40代：体験談が一番分かりやすい。
- 40代：今の現状が良くわかつた。
- 40代：現場の声がきけて大変よかつた。講演者自身の人間性が表れており素晴らしい話がきけたと思う。

- 40代：素晴らしい内容だった。
- 40代：実際の事件、出来事から経験に基づいた熱意のある話だった。
- 40代：涙ができました。
- 40代：聴く人々を引き付ける話術が素晴らしい為、親の立場で話を聴いてしまった。
- 40代：親としても興味深く、分かりやすく、ユーモラスでひきつけられた。
- 40代：学校事務職員として、親として感じる所が多々あった。
- 40代：ファイトが外にキラキラ出ていた。
- 50代：子どもに対する愛情の深さがひしひしと伝わりました。
- 50代：熱意に感動した。
- 50代：パワーあふれる講演であり、現実的対応で大変参考になりました。しかも個人的な問題まで一つの話題にさせていただき感動しました。こんな先生が多くいれればと思いました。
- 50代：環境悪化で環境ホルモンが人体におよぼす影響も多いと思います。子育てをしない鳥などの動物・人間もか。
- 50代：中野先生が持っていらっしゃる事務職員への期待・考え方を校長さんへも広げてもらいたい。
- 50代：具体的でポイントを得ていた。
- 50代：ファイトのカタマリを肌で感動しました。
- 50代：ここまで本気で話をしていただいた方は初めてです。学校が一枚岩にならなければならないという言葉はほんとに重く感じました。
- 50代：もし来ていただけるならば、勤務校へも講師としてきていただきたいと思った。
- 50代：中野先生の話は、2度目ですが、以前にも増して迫力があり、身近に感じられ、大変良かった。
- 50代：1時間半があつという間であった。
- 50代：午前中勤務で午後より参加。
- 50代：生徒の本質をよくつかまえ、色々な情報を取り入れながら生徒指導にかかわられた事、大変良かった。学校での生徒への対応、勉強になった。
- 50代：今、子育てに何が足りないか考えさせられる有意義な講演でした。
- 50代：家庭の教育力、戻せるのだろうか？
- 50代：情熱をもって教育にあたっている姿勢が感じられた。
- 50代：子供たちの現状問題について、大変興味を持って拝聴できました。
- 50代：素晴らしい先生は現場にいるべきだと思います。
- 50代：私達の声かけがなによりのものというのを再認識した。
- 50代：個人的な体験談に感動し、涙した。話術が上手で、引きつける話し方で良かった。
- 50代：素晴らしい講演だったと思います。今、子供さんいらっしゃるのでしょうか？
- 県外
- 20代：あらためて、危機を感じました。地域社会も含めて全員が意識的に動くべきだと思った。
- 20代：事務職員として一人の大人として考えさせられました。
- 20代：迫力あふれる講演で、実体験を交えながら教育の現状について熱心に伝えているところが非常に良かった。
- 30代：わかりやすく楽しく話が聞けました。私も親としていろいろ考えさせられる事がありました。
- 30代：事務職員として母として大変勉強になりました。反省しました。（母として）
- 40代：こういうパワフルな人（教諭）が当県にも欲しい。
- 40代：人間に対する先生の真摯な態度がよく伝わった。
- 40代：子供さん、できられたでしょうか。
- 50代：分かりやすく話してもらった。PTAの講演会等でも話してもらいたいと思った。

#### 粟井氏講演コメント

##### 県内

- 20代：今後の私達の職務において、公務員制度についてもっと学んでいきたいと思います。
- 20代：同じ事を何回か繰り返し説明していただいたので分かりやすかった。
- 30代：やっぱり、我が身のことですからね。
- 30代：時間の都合で、共同実施の話詳しく聞けなかったのが残念でした。
- 30代：非常に聞きやすく、理解しやすい講演だった。地方分権が現実化されると現在の生活レベルの維持

は困難になると感じた。

- 30代：補助金の話ですが、兆円と・・・堅い話で、ムズカシかった。
- 30代：具体的にわかりやすく説明していただき、少しは理解できたような気がします。
- 30代：義教法の最新の情報が聞けてよかった。
- 30代：がんばらなくては行けないと改めて思いました。共同実施についての話も聞きたかった。もう一度講演をお願いしたいです。
- 30代：共同実施の話をもっと聞きたかった。
- 30代：共同実施についてもっと話をしてほしかったです。
- 30代：資料に沿って具体的に話されたのでわかりやすかった。
- 30代：基本的なことから、丁寧に説明していただき、分かり易かったです。
- 30代：わかりやすく説明されて、地方交付税のことがよくわかった。
- 30代：我々事務職員よりもむしろ部外者向けのお話のような・・・。
- 40代：資料が良くまとめられていて分かりやすかった。
- 40代：毎回同じ内容であった。
- 40代：資料をまた読み返して勉強したいと思います。
- 40代：義教法・地方交付税等の説明がわかりやすかった。省庁間のバトル話もちろちら聞いておもしろかった。
- 40代：共同実施への示策を聞きたかった。
- 40代：わかりやすく、大変ためになった。
- 40代：資料の棒読みで目新しいものは何もなかった。大学の講義みたいだった。
- 40代：文科省の努力の様子は分かったが、今後はどうなるのかはよくわからなかった。
- 40代：実務に実際に役立つ具体的な講義もあってよい。
- 40代：勉強になりました。
- 40代：思ったより分かりやすかった。
- 40代：たいへん参考になった。
- 40代：分かりやすい資料でたいへんよかった。
- 40代：時間が足りなかった。もっと聞きたかった。地方交付税の算定基礎の特別講義をして欲しい。
- 40代：とても詳しい説明で国庫負担金、交付税について特に分かりやすかった。
- 40代：大変わかりよかったです。
- 40代：現在までの流れは、詳しく説明してもらったので分かったが、今後の方向性や三省の内情についてもう少し詳しく情報が欲しかった。
- 40代：文科省には、ガンバッテもらいたい。
- 40代：共同実施についての話まで聞きたかった。
- 40代：質問もたくさんやりたかった。
- 50代：とてもわかりやすく、心強く感じました。
- 50代：わかりやすかった。
- 50代：具体的説明で解りやすい。
- 50代：予算要求の段階で時期的に大変参考になった。
- 50代：時間がオーバーするほどの中身だったが、共同実施の提言をききたかった。
- 50代：若くて明るく分かりやすかった。
- 50代：“留保財源”という言葉で勉強しました。真剣な話振りに大変好感がもてました。
- 50代：勝山氏とは違う意味で良かった。丁寧に分かりやすく、行政説明のやり方として参考にできました。
- 50代：今の時期、三位一体改革を理解する上で大変参考になりました。
- 50代：分かりやすくて良かった。
- 50代：三位一体改革の中身が分かった。あくまでも義教法は堅持すべきである。特に財政弱体県であるほど必要である。
- 50代：国の財政政策の成り立ちが少しは理解できて良かった。
- 50代：分かりやすかった。文科省の意向が心強かった。
- 50代：わかりやすく話され、改めて義務教育国庫負担制度をふりかえる勉強になった。
- 50代：制度などについて分かりやすく説明されていた。が、今後の改革の方向性については情報が十分ではなかった。

50代：若いのにしっかりした説明、感心いたしました。頑張ってください。私も頑張ります。

50代：難解な話だがずんずん引き込まれていった。

50代：話し方もわかりやすく、丁寧で良かった。義教法制度や一般交付税が判りやすく、解説されて、理解できた。

50代：わかりやすかったと思う。それにしても若い。

県外

20代：現在の状況が分かり、危機感が芽生えた。

20代：・・・ですが、自己の勉強不足のため・・・よくわからなかった・・・文科省、がんばってください！

20代：大変わかりやすく勉強になりました。また聞きたいです。

20代：国庫負担制度の基礎から今後の動向まで、大変分かりやすい説明だった。

30代：時間がたりなかった。いつでも聞けるものではないのもっと時間に余裕を持ってほしかった。

30代：とてもわかりやすく説明されありがとうございました。

40代：が、共同実施関係のことをもっと聞きたかった。

40代：直接現場の声、一番聞きたい事を聞く事ができて、大変ためになった。

50代：今置かれている教育財政を少しは理解できたと思う。

その他

県内

20代：今回の佐事研は特にためになったと思います。

30代：土師先生のお話もよかったです。まだまだ事務職員の中にも一芸に秀でている方はいらっしゃると思うので、また体験発表を企画しています。

30代：月の最後の週は忙しいので、可能であれば、月の中旬ぐらいにして頂きたいです。

30代：今日は全体的に人あたりの良い人達がお話されていたので、聞きやすかったです。

30代：共同実施の加配効果 etc. などのこともききたく思います。全事研加盟から県立高校、義務制交流へと尽力の支援をしたいと思います。

30代：お疲れさまです。講演の後の質疑の時間が短いので、もう少し余裕をもった時間配分を考えてみてほしいのでは。

30代：文科省からの最新情報は本当に佐事研だからこそ入手できることだと思います。是非今後も文科省の方の講演は続けていただけたらと思います。大変ですが、頑張ってください。

30代：休憩時間を15分くらいとってほしい。(トイレも混みます)

30代：会員研究発表では専門的な話が聞けてよかったです。未だに開会中にケータイが鳴るのには閉口します。午前中は身につまされる話があったのに現状はこうなんですね。

30代：土師事務長の発表、とっても興味深くうかがいました。楽しかったです。日本史っておもしろそうだなあ。私も少しずつ本を読んでみようかなあと思いました。「へえ〜っ」と何度も思う話があり、ちっとも眠気は感じませんでした。内容的に充実し、素晴らしい大会だったと思います。今回欠席された会員の方々にもぜひ見聞きしていただきたかったと思いました。

40代：土師先生の話も歴史学者の講演を聞いているようで奥が深いと思いました。今回は全て良かった。

40代：ステージの垂れ幕にしわがよっていて、県外からのお客様に対しはざかしい。

40代：関係者の方々ありがとうございました。

40代：役員の皆様、ご苦労様でした。

40代：土師先生の知識は、感動するものがあり、歴史を見る方向を少し変えてもらった気がする。

40代：毎回の大会冊子のアンケート集計等について、アンケート集計する事により何の成果(結果)があるのでしょうか。また、アンケート内容ですがP87(問4)PTAに参加する必要性のアンケート、P88(問5,6,7,8)等のアンケートをとる事そのものの意識がわかりません。もっとレベルの高い(個人意識のアンケートでは結果が出ない)アンケートを望みます。大会冊子であり同人冊子ではないのですから、佐事研だよりに記載すればいいのではないかと思います。今、教育はきびしい時期です。教諭も皆必死で仕事をしている中、事務職員がいつまでも自分たちの社会的地位や学校での立場にグチをいっている時代ではないと思います。アンケートP88(問6)正しくものが言えていると思いますか? ものが言えないとおかしいし、P88(問7)職務内容について満足していますか? 自分で満足できるようにしなければならぬし、個人の力量にかかっているのでは? 労働組合組織ではないのですから、アンケート内容にはもう少し気をつけてほしいし、何のためのアンケー

トなのか書かせる前に提案してほしいと思います。(どういう結果が出てその評価としてどうなのか) ちょっと美化しすぎかもしれませんが、15年あまり仕事をしてきましたが事務職員のプロ意識+児童を思う心があれば、教諭とも職種は違って学校の中で共通理解ができると思います。自分たちの立場を守るのは、自分たちではなく他者の事務職員に対する評価ではないでしょうか。研究大会おつかれさまでした。お世話になりました。

40代：土師先生の話は、つづきを聞きたい。

50代：「日本史を楽しむ」～楽しませてもらいました。

50代：今回の研修会は大変充実した研修会でした。しかし参加者が段々減少傾向にあるのが気になります。

50代：文科省の義教法取扱について心強く思った。

50代：来年3月で定年です。大変お世話になりました。ありがとうございました。

50代：内容は充実していましたが、丸1日でちょっときつかった。

50代：文科省からは今後も講演をお願いしたい。

50代：今回は、個人的に充実していました。

50代：進行の役割は大変に重要です。熱のこもった話を聞けたにしても、ここがうまくいかないとせっかくの余インをさましてしまいます。

50代：司会の方が、講演が終わる前に(特に外部からの講師の場合)出てこられるのはどうかと思う。失礼にならないか？

50代：終了時間が遅い。レセプションに間に合わない。

50代：私たちは学校に勤務していて、教員と同じように社会について考え、教育についても熱い思いを持っています。しかし教員(校長も含め)の側は、事務職員に対して教育を支えている職員だと思っているのでしょうか。

50代：相対的によりよい研究大会であったが参加者が少し減っているようである。もっと積極的に参加するよう地区で頑張してほしい。

50代：土師先生の講演も歴史を見る時の参考になりました。

50代：毎回、講師の選出にあたっては役員の方ごころうさまです。感心してありがたく聴いています。

50代：毎回、席を前につめてと言われる。なんで席を指定せんね。私は自分の好きな席にすわる為一時間前に来るのに、遅く来た者が前にすわればいい。必ず席を指定して！！

県外

20代：大変有意義な研修となりました。みなさまおつかれさまでした。・・・

40代：福岡県からの参加であるが、佐賀県は、何か自由なフンイキというか、ワキアイアイというか、とても良いと思った。

40代：時間が無いのが残念。特に講演2の質疑応答の時間。

## いらっしゃ~い！相知へ

皆さんは東松浦郡相知町をご存知ですか。相知町は、佐賀県の北西部に位置し、北は唐津市、浜玉町、東は厳木町、西は北波多村、伊万里市、南は多久市、武雄市に接しています。周囲を八幡岳、作礼山、岸岳の各山系に囲まれた盆地的な地形をなしています。

相知町には、多くの史跡が残されノスタルジックな雰囲気醸しだしています。この相知という地名には、歴史的な由来があります。古くこの地は「逢う地」といいました。遠い昔、河川を交通手段としていた頃、東西松浦を結ぶ松浦川、佐賀方面へつながる厳木川、それら河川の入り組むこの地は、繁く往来する人々の交通の要地となり、宿場とされてきました。そこで、人々が出会い、親しく語らう処として、いつしか逢う地(あうち)・・・相知(おうち)の地名になったのだといえます。

相知町と聞いて、すぐ思いだされるのがあじさいと見返りの滝、それに蕨野(わらびの)の棚田です。見返りの滝では、6月から7月まであじさいまつりがおこなわれます。色とりどりのあじさいと日本の滝百選に選ばれた見返りの滝の雄大さは訪れた人の目を楽しませています。平成11年に「日本の棚田百選」に選ばれた蕨野地区の棚田は、八幡岳の標高150～420メートルまでの斜面に約40ヘクタール、1050枚の田が広がっています。棚田に使用されている石は、大きいもので表面縦横1メートル以上。石積みの高さは10メートルに達するものもあります。現在も、地元の農家の人たちの手できめ細かく手入れされており、美しい里山をみることができます。棚田でできる米は、棚田米「蕨野」として販売されおいしいと好評のようです。棚田を通じての交流も盛んで、平成16年の秋には全国棚田(千枚田)サミット開催にむけ、

着々と準備が進められています。

相知町にもうひとつ自慢できるものが今年の秋に完成しました。去る、10月4日に落成式が行われた交流文化センターです。この施設は、生涯学習センター、保健センターと文化ホール「サライ」とで構成されています。客席320席、天井の高さ10メートルの長方形のホールは、シンプルで無駄のない空間、ゆったりとした座席でさまざまな催しに対応できる広い舞台が特徴です。それに何より優れているのは、音響のすばらしさと遮音性の高さです。関係者によると、「レコーディング用のホールとしても十分にアピールできる」とのことです。ホールには、ドイツのスタインウェイ製グランドピアノが置かれています。

「スタインウェイピアノの音は、雷鳴や嵐のように力強く、春の夜のナイチンゲールのさえずりのようにメロディアスである」と作曲家のロッシェニは語り、二十世紀のピアニストの巨匠アルトゥール・ルービンシュタインは「(スタインウェイと)比較するピアノはこの世にはない」とまで言い切ったそうです。

このようなすばらしいホール「サライ」で、来る3月に東松浦郡事務研究大会が開催されます。詳しいことは、各学校に送られてくる開催文書をご覧になって下さい。現在、研究大会のための準備が郡事務研で進められています。当日は3月の異動前のたいへん忙しい時期ではありますが、県内から多数の参加をお待ちしています。

## 私の鉄道廃線・廃跡探訪記

皆さんは鉄道と言うと出張旅費の請求の時、計算でJRの運賃規定を準用したりすることが仕事の上で関係がありますが、その規定の複雑さから昔から交通手段はやはり鉄道が主だったことがわかります。佐賀では他県に較べ路線の廃止や駅舎の建替えはかなり少ないほうですが、最近神埼駅が元の姿から想像出来ないくらい近代的な駅舎に変わりました。これからあちこちの歴史の古い建物等が改築されるかもしれませんが今まで自分が見てきてまとめ上げた県内路線の廃線跡、元の駅施設にまつわる思い出話をしていきたいと思います。まずは北の方から・・・

(筑肥線、東唐津・鏡・久里)

筑肥線は1983年電化される際に、東唐津の駅舎を南の現在位置に建替え松浦川に橋を架けて唐津まで路線を通しました。それまでの駅舎は現在のロイヤルホテルの北側にあったと思います。当時から博多からの列車の本数も多くここで殆どの人が降り佐志までの市内循環バスに乗り換えをしていたようです。以前は東唐津が市内の中心駅だったようで、ホテルの敷地が全部駅設備だったのですからかなり大きなものであったことがうかがえます。私は近くの海水浴場に行く時よく利用した駅で今の唐津駅みたいに人がごったがえしており確か駅弁も売っていたような気がします。ホームからはシーサイドホテルや東唐津公民館が見え、手前の線路には博多から折り返すディーゼル列車が何本も留置していました。鏡と久里駅周辺は現在の県道に沿っておりかろうじて砂利道として跡が残っているくらいであり、当時降り立ったことはありませんが列車の窓から見るとびっくりするくらい駅舎も名前の表札も朽ちておりすでに廃屋の状態でした。今では住宅やアパートも建ち、路線跡も段々少なくなっています。なお筑肥線は現在福岡地下鉄と接続し、電車も通勤電車用を使用していますが、廃線になった博多付近の地上線を残しておけば遠方からの観光列車を直接引き込むことが出来、ちょっともったいないなと思ったことがありました。

(唐津線、唐津・山本 岸嶽線、岸嶽)

唐津駅は今では高架の立派な駅舎になってますが、当時は唐津線のみの方のローカルな小駅でした。木造の今の小城駅くらいの大きさでこの駅の近くにアーケード街や繁華街の大手口があるのですが、それと対比するかのようには客もまばらで静かだった印象があります。前に市内の各施設で昔の鉄道写真展や絵画展があったことがありましたが、唐津駅のもの一度も見た記憶がありません。それくらい印象のなかった建物だと思います。山本駅からは岸岳の麓まで岸嶽線という路線があり、1971年まで1両のみのディーゼル列車が駅舎側のホーム(確か0番乗り場があった)から発着していました。岸嶽の駅があった付近は歩いてみたことがありましたが近くに工業団地や家屋がまばらに建っているだけで跡形もなく消えており、結局路線らしきものは発見できずに終わりました。山本駅は筑肥線、唐津線、岸嶽線が交差する重要な駅だったようで駅舎と反対側の線路寄りの住宅地に5番乗り場までのホームがあり、博多からの急行列車も停車していました。当時は列車の両数も長くホームに入りきれずに「1両目と2両目は出口に近づかないで下さい」とアナウンスがあったのを憶えています。

(長崎線、佐賀・肥前山口)

佐賀駅は今の位置より300mくらい南側にあり、この昔の駅舎はかなりの人が記憶にあると思います。

線路跡も石碑もありますが中央大通りから急に道路の幅が広がっているので駅施設跡だというのが容易に判断できます。県内一の駅らしく入口と出口が別々の場所になっており、子供の頃よく間違えて駅員さんに注意されたことがありました。早い段階で改築の話が発表されていたのでみんなカメラを持って記念撮影しに行った思い出があります。その時の写真を見ると今の市役所の真下をくぐり抜けるように線路があり、駅の裏側はすぐ近くまで田畑でした。肥前山口は駅舎こそはそのままですが駅前の広場にはボンネットバスが2台常駐し駅の裏側には列車の向きを換えるための引込み線がありました。ホームからは田園風景が広がり江北小学校の姿がはっきり見えてました。近くの踏切は列車の往来のうへ入換が頻繁にあり開かずの踏切で有名でした。よく「あそこは一度列車が通っても周りをよく見て渡らないと何処から来るかわからないからね」と言われてました。続いては鉄道の話が出たついでに・・・

佐賀版トリビアの泉(?)・・・

昔は塩田、嬉野に電車が走っていた！塩田や嬉野と言えば今でこそ移動手段は車であり鉄道には馴染みの薄い所ではありますが、その昔昭和6年までこの区間に電車が走っていたことがありました。当時の資料や写真を見ると電車が写っているバックに大きな建物があり(駅?、本社?)、当時の隆盛が偲ばれます。塩田から大草野を通過して嬉野まで運行していたそうでなんと佐賀県で最初に電車が走った所でもあります。旧国鉄ではディーゼルカーも走ってなかった時代に電車ですから驚きです。

## 何へえ～いただけますか？

知的財産権と呼ばれる著作権は原作の無断使用を禁止する権利で、複数の権利(複写、録画・録音、翻訳、上映等)に分けることができますが、利用者側の理解が不十分なために著作権者の権利を無意識に侵害している場面が見受けられます。日頃何気なくしてしまう行為ですが、著作権について学校にあてはめたケースで考えてみましょう。

原則では複製する場合、著作者から承諾を得ることが必要ですが、著作権法第30条で自分や家族が楽しむためにCDをダビングするとき  
第32条でレポートの作成をするときに必要な部分を取り入れて使用すること(引用)  
第35条で学校の担任の先生が授業で必要な範囲をある程度複製をすること  
第36条で学期末試験等に著作物(主に論説や文章)を問題として取り扱うとき  
など承諾を得なくても著作物を利用できる場合もあります。

Q1. 宿題や課題研究などでレポートを作成するときに他説や資料の引用ができますか？

また新聞や雑誌の記事、統計資料なども取り入れられますか？

A1. 自分の主張や意見をはっきりさせたり補うために使うのであれば自由にできますが、ルールがあります。

引用する必要性、必然性があること。

最小限度の引用で自筆の分より少ない量であること。

引用した部分はかぎ括弧でくくり、著作者名や題名を表示して出典を明らかにすること。

Q2. 新聞や雑誌の記事・写真をコピーしたものをファイル資料にできますか？

A2. 新聞や雑誌の記事もほとんどが著作物なので、承諾を得る必要があります。

コピーをせず、現物そのものを切り抜いてスクラップにするのは自由です。

Q3. 雑誌に掲載された勤務校の記事を大量にコピーして校内で配布したいのですが、

問題になりますか？ 外部の研修会の資料として配布する場合はどうでしょうか？

A3. 例え自分の学校の記事であろうとも、コピーすることは著作権を侵害する行為になります。35条は自分の授業で使用するために生徒数分のコピーを認めているので、大量のコピーは認められません。また、外部の研修会は「授業の過程」ではなく、私的な使用のため(30条)でもないので認められません。

雑誌社の依頼で記事の原稿を作成し、著作権が学校にある場合は大量にコピーして配布したり、資料として配布できます。

Q4. 学校で行われた講演会の内容を印刷して配布したり、ビデオに録画したものを学校の資料としてもよいですか？

- A 4 . 講演をした人の承諾が必要です。また、事前に承諾を得ずに録音や録画をすることも許されません。講演は話し言葉で行われるので、文章化するにあたり手を加えることがありますが、読み手に内容を正確に伝えるためには講演者に文章の内容をみてもらい了解を得ておくとういでしょう。
- Q 5 . 教材として利用するためにテレビ番組を録画できますか？
- A 5 . 第35条により「教育を担当する者」が「その授業の過程における使用を目的とする」ためのコピーは認められていますが、ライブラリーとすることはビデオとして販売された場合に不利益を生じることになるので、消去することが求められます。
- Q 6 . ドリルの見本を児童生徒数分コピーし配布したいのですが問題ありませんか？
- A 6 . 通常、授業の副教材としての利用を目的としているので、授業で使用すれば本来の目的と競合し不利益が生じることになるので認められません。
- Q 7 . 旅行のしおりや発表会のプログラムを切り貼りして作りたいけれど問題はありませんか？
- A 7 . ガイドブックにも著者がいて、文章や写真等は調査した結果などに基づいて作られている著作物です。無断でコピーできません！「無断転載・複製禁止」と最後のページにあります。(ルールを守れば一部の引用可。)また歌集から歌詞や楽譜を載せる場合も承諾が必要です。
- Q 8 . 合唱部で使う楽譜を1部だけ買ってコピーしようと思いますがどうですか？
- A 8 . 楽譜には音楽の著作権があります。個人的な利用は認められますが、合唱部のメンバーに配るためのコピーは不利益を生じることになるので認められません。コピーする場合は、著作者と楽譜の出版社に承諾を得る必要があります。
- Q 9 . 著作者から承諾を得るには、どうしたらよいのですか？
- A 9 . 2つの方法があります。
- 著作者本人から直接  
著作物名、使用の日時、目的や範囲、方法などを明記した「著作物使用願い」と条件を記した「使用許可書」を交わすとよいでしょう。
- 著作者が委託している著作権管理団体から金銭の支払が伴うこととなりますので、団体に問い合わせましょう。手続きの方法や条件、使用料等を教えてもらえます。

## へえ～

さあ、何へえいただけたでしょうか？著作権を理解すればするほど、あなたの創造性が豊かになることでしょう。そして個性を發揮すると同時に、他の創作物に敬意を払う心をもって下されば、と願います。

参考：『めざそう!著作権なんでも博士』 (財)消費者教育支援センター発行  
『学校図書館と著作権Q & A 改訂版』 森田 盛行著



皆様良いお年をお迎えください。  
調査広報部一同